

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年4月11日（水）

2 確認箇所

- ・増設雑固体廃棄物焼却設備建屋建設工事現場
- ・4号機タービン建屋周辺（東側）

3 確認項目

- （1）増設雑固体廃棄物焼却設備建屋の建設工事進捗状況
- （2）4号機タービン建屋屋外滞留水排水ラインの漏えい対策

4 確認結果の概要

- （1）増設雑固体廃棄物焼却設備建屋の建設工事の進捗状況について
 - ・1階部分の建物の柱と壁の設置工事が行われていた。（写真1）
 - ・ドレンタンク室（定期検査中に発生する排水や凝縮水を受け入れるタンクを設置する部屋）については、タンクが2基設置されていた。（写真2）
 - ・東京電力によると、工事の進捗率は19%で、平成30年3月末に基礎の設置工事が完了したとのことであった。



（写真1）増設雑固体廃棄物焼却設備建屋



（写真2）ドレンタンク室のタンク

(2) 4号機タービン建屋屋外滞留水排水ラインの漏えい対策について

4号機タービン建屋において、建屋地下階のドライアップに向けて滞留水の排水作業が行われているが、一部、堰などの影響により残水が生じているエリアがある。その残水を除去するために、排水ラインが設けられているが、一部は屋外に設置されていることから、漏えい対策の状況について確認した。

- ・滞留水を移送するホースは2重構造となっていた。
- ・ホースとヘッダ接続部分は、シート養生されていた。(写真3)
- ・滞留水を移送するホースが出ている建屋開口部はテントの中にあり、開口部の周りはシート養生されていた。(写真4)



(写真3) 養生の状況



(写真4) 滞留水を移送するホースが出ている開口部

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。